

専門教育科目	演習科目	申込み前に204～205ページの注意書きを必ず精読すること		受講料	20,000円
科目名：心理学実験演習Ⅰ				科目コード	EK12
				単位	2
科目主査：松原 詩緒		担当講師：	阿部 廣二、井島 由佳、田中 美歩、 長澤 里絵、永山 祐輔、末崎 裕康、 松原 詩緒、山田 竜平	配当年次	4
授業の目的と概要			グループワーク： ☒ あり ☐ なし	個人ワーク： ☒ あり ☐ なし	
心理学の研究では、客観的なデータを収集し分析することが求められます。本科目では基礎的な心理学実験および調査を実施し参加するとともに、収集したデータを用いてレポートを執筆することで、心理学的な測定方法やデータ解析、科学レポートの作成方法、研究倫理について学習します。 ※レポート作成にあたりPCやタブレット等の情報端末を使用します。可能であれば持参してください。無い場合は、当日授業内での利用に限りノートPCを貸し出します。					
履修の前提となる科目		☐ あり ☒ なし	科目名：単位の修得を前提にはしませんが、心理学研究法・心理学のための統計の2科目の内容を十分理解したうえで履修してください。		
履修の前提となる知識 その他特記事項		調査法、実験法、論文執筆、統計の基礎を確認しておいてください。また、Microsoft WordとExcelを使用してレポートの執筆や簡単な表計算、グラフの作成を行います。それぞれの機能や操作方法を確認しておいてください。			
テキスト	『よくわかる心理学実験実習〔第2版〕』村上 香奈・山崎 浩一，ミネルヴァ書房，最新版 ※テキストはスクーリング受講許可者に送付します。なお、心理学実験演習Ⅰ・Ⅱは同一テキストのため、2科目を履修登録しても1冊しか送付されません。				
この科目の到達目標	①心理学における基礎的な用語を理解し用いることができる。 ②心理学研究における手続きが理解でき、説明できる。 ③客観的視点に基づいた科学レポートの執筆ができる。				
成績評価の方法	授業態度と3つのレポートにより評価します。 ※スクーリング全日の出席、レポートの提出をもって、採点対象とする。				
事後学習	授業で実施した3つの実験や調査について、心理学における標準的レポートを執筆してください。				
事後学習の参考文献	『心理学実験法・レポートの書き方』西口 利文・松浦 均，ナカニシヤ出版，2008年 『心理学実験を愉しむ』宮原 英種・宮原 和子，ナカニシヤ書店，2003年				
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 定規 ☒ PC等のデバイス ☒ 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒ 学生証					